

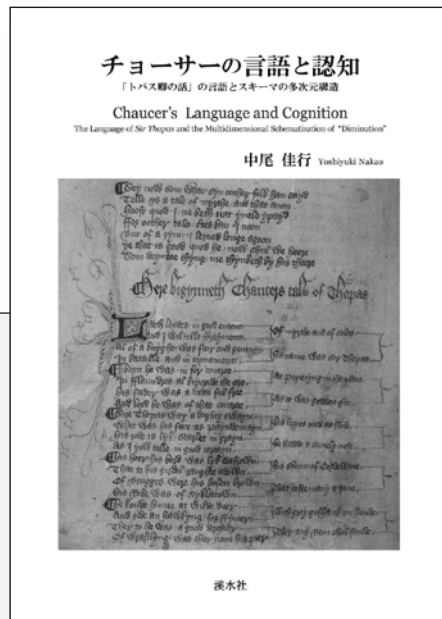
チョーサーの言語と認知

6月刊行
最新刊

「トパス卿の話」の言語とスキーマの多次元構造

中尾 佳行 著 3,700円 ISBN978-4-86327-439-6

『カンタベリー物語』の一つ、チョーサー自身が話す「トパス卿の話」に焦点を当て、「縮減」(diminution)のスキーマがテキストのマクロからミクロまで種々層に通底し、各層の意味とその融合を動機付け、同時に多次元的に高次化していくことを、記述・説明する。



1.はじめに：問題の所在

- 1.1. 先行研究
- 1.2. 研究課題

2. 研究の視点と方法

- 2.1. スキーマの多次元構造
- 2.2. 「主体」の入れ子構造
- 2.3. 「縮減」の拡張事例化の検証手順

3. 検証

- 3.1. RQ 1
- 3.2. RQ 2
- 3.3. RQ 3
 - 3.1.1. 入れ子構造
 - 3.1.2. 入れ子構造1、2、3、4の下位区分

4. [1] 物語 (Tale) の「縮減」

- 4.1. [1-1] スキーマの三次元構造：
「主体」の入れ子構造
- 4.2. [1-2] テイルタイム
- 4.3. [1-3] 表現モード的スキーマと記述的スキーマ：
状態と動作
- 4.4. [1-4] 写本レイアウト
- 4.5. [1-5] 「縮減」の三次元構造：
物語の循環性

5. [2] 断章 (Fit) の「縮減」

- 5.1. [2-1] 断章の連数
- 5.2. [2-2] 断章の境界線

6. [3] 連 (Stanza) の「縮減」

- 6.1. [3-1] 連の行数
- 6.2. [3-2] 尾韻
- 6.3. [3-3] ボブ (bob)

7. [4] 詩行 (Verse line) の「縮減」

- 7.1. [4-1] 動詞の相と法
- 7.2. [4-2] 統語関係
- 7.3. [4-3] イディオム
- 7.4. [4-4] 句跨り
- 7.5. [4-5] レジスター
- 7.6. [4-6] 多義性
- 7.7. [4-7] 韻構造
- 7.8. [4-8] 語形：final-e の揺らぎ
(単音節形容詞と名詞の場合)

8. 結論

- 8.1. 研究課題への答え
- 8.2. 課題点

チョーサーの言語と認知

「トパス卿の話」の言語とスキーマの多次元構造

中尾 佳行 著 3,700円+税 ISBN978-4-86327-439-6

個人・書店様注文書

お名前	ご注文冊数
冊	
ご住所 (〒)	お電話番号 ()

<p>【書店様】 ご注文の際には 溪水社宛に FAX をお送り下さい。</p> <p>FAX 082-246-7876</p>	<p>番線印</p>
----------------------------------------------------------------------------------------	------------

◆お問合せ 直接のご注文は



溪水社

広島市中区小町 1-4 (〒730-0041) TEL (082) 246-7909

E-mail info@keisui.co.jp FAX (082) 246-7876

※表示価格は税抜きです。

書籍の詳しい情報はホームページで

URL: www.keisui.co.jp